

キリストの光のキリスト

年間第3主日 1月25日(カトリック児童福祉の日)
(マルコ1・14-20)

「パウロ年」に当たり、この日の一つのミサを「パウロの回心のミサ」とすることができます。その場合の福音はマルコ16・15-18。

イエスは神の福音を宣べ伝えて言う。「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」。マルコ福音書に記されているイエスの最初の言葉である。

「悔い改めて」と訳されている言葉はギリシヤ語で「メタノイア」。方向転換・回心を表す。方向を換えてから福音を信じる。心を回してから福音を信じる。イエスの福音を信じる前に方向を転換する必要がある。方向を換えてこそ、イエスの方に心を回してこそ、福音と出会うことができる。そして、それを信じていることができる。

イエスを見るとは。方向を換えてイエスに向くとは。

日々の喧騒から逃れて祈るこ

向きを換えて従う

と。座つて心を静かに落ち着けること。神のことばに耳を傾けること。聖書のみことばを読むこと。ミサに参加すること。そして、イエスがおられる貧困の中に向かうこと。

「悔い改めて」ことを改心と考え、心を改め、または入れ換えなければイエスの方向に向くことができない、という考え方があつた。自分の弱さと罪に気づき、それを改めた後でないに神に近づくことができないう、という考え方があつた。そして、おそろく、いつまでたつてもイエスと出会うことはできないのではないのか。福音と出会うことはできないのではないのか。なぜなら、見つめる方向は

自分であつて、イエスではないから…。

まず、ありのままの自分をイエスの前に差し出す。そのままイエスの方に振り返る。そうすれば、見つめる方向が自分では



なく、イエスに向く。そうすると福音に出会い、救いを得ることができると。

マルコ福音書はイエスの最初の言葉を記した後、漁師を弟子にしたことを記している。

イエスは呼び掛ける。呼び掛けられた兄弟の漁師はすぐにイエスに従う。別の兄弟の漁師を見て、すぐにまたイエスは呼び掛ける。その漁師たちもイエスについて行く。

弟子たちが心を改めて福音宣教を始めたのは、ずっと後のことである。

イエスの方を向くことは難しい。だから、イエスの方から呼び掛けてくださる。ひとたび、その声を聞けばついて行くほど、その呼び掛けは強い。イエスはいつもわたしたちに呼び掛けています。

まずはイエスの方を向くこと。イエスの言葉を聞くこと。そして、ついて行くこと。

改心は初めにあるのではなく、結果である。イエスに向かつて回心した人が改心する。まずはイエスの言葉に耳を傾けることである。イエスは「ついて来なさい」という。まずはついて行くこと。

イエスとわたしの「向き」がぶつかった時から救いが始まっていく。

(山元眞 福岡教区司祭 / カット 高崎紀子)

今週の福音

26日・月ルカ	10・1—9
27日・火マルコ	3・31—35
28日・水マルコ	4・1—20
29日・木マルコ	4・21—25
30日・金マルコ	4・26—34
31日・土マルコ	4・35—41